

PRO-LIFE NEWS

(中絶に反対する運動)

〒780 高知市新本町一丁目七番三十一号

事例研究

【ジュリア

テイラー夫人】

今年の母の日、七歳の孫、ジャスティンが母親のお墓に花を添えるのを私も手伝いました。彼は、メアリーが私の小さな女の子だった頃を思い出させます。彼の母親も弟も、必要な中絶で殺され、彼から奪われたのです。ジャスティンが産まれた時、メアリーはまだ十六才でした。彼女は結婚しておらず、た

くさんの人が中絶を勧めらる中で、ジャスティンの命を守るうとした彼女の熱意を、私達は誇りに思いました。ジャスティンの誕生は、みんなの生きる事への態度を、それまでになく前向きにしたのです。

トの相手にレイプされました。相手は妊娠を知った時、彼女に墮ろさせようと思いました。彼女はそれを拒否し、彼とは縁を切ったのです。彼女は赤ちゃんを養子に出そうと考えていました。中絶なんて、一切考えてもいませんでした。しかし彼女の精神科医は、彼女がうつ病の為に飲んでいる興奮剤が、赤ちゃんに障害を与えてしまう可能性が、12に1の割合である、と言ったのです。

メアリーは大きなショックを受け、アドバイスとカウンセリングを求めて病院に行き、そこで赤ちゃんに害を与えてしまったと信じさせられてしまったのです。そして、「お母さんに、二人目の、それも特に障害を持った子を育てる手伝いをするという負担を負わせるのは不当だと言われた」とメアリーは言いました。赤ちゃんは無事だと娘を安心させる為にどうか胎児のテストをしてくれるように私はカウンセラーに頼みました。しかし、カウンセラーはただメアリーと個人的に話したいと言うだけでした。

私がメアリーを手術前の検査に連れて行った時、私が医者と話をする事も、何か質問する事も許されませんでした。再びここで、私の落ち込んでいる十代の娘は、愛する家族の支えなしに書類にサインし、大切な健康管理についての決断を下さなければならなかったのです。

午後12時45分になると、看護婦はメアリーを中絶の行われる手術室に連れて行きました。彼女が戻ってきた時、私は彼女をベツトに寝かせ、布団を掛けて、涙をふいて、抱きしめてやりました。「ああ、お母さん、本当に痛かった。」と彼女は泣きながら、言いました。「痛かったでしょうね。かわいそうに」と彼女に言ったのを覚えています。それからジャスティンの様子を見る為に、私は病院を午後3時30分に出ました。私が家に向かって運転している間に夫が電話でいかにメアリーを愛しているかを伝え、そのうち会いに行くといいました。彼等は、母なるマリア様に「罪人なる我らのために今も臨終の時も祈りたまえ。」とお願ひする短い祈りで、会話を終わりました。これが彼女と話した最後でした。

私はその夜病院に戻り、午後11時までいましたが、メアリーは、ジャスティンといっしょに居てほしいと言いました。私は彼女と共に居たかったので、彼女はもし寂しくなったら電話するから大丈夫だと言つのです。私は「愛しているわ。又明日の朝ね。」と言っておやすみのキスをしました。あの

ベツトの中で彼女は小さな少女のように見え、それが私が生きていた。彼女を見た最後でした。翌朝の9時15分に、集中治療室（ICU）から電話がありました。看護婦が「何か間違ひがありました。とても危険な状態です。」と言いました。私は病院へ飛んで行き、ICUに走り、部屋に飛び込みました。カーテンの後ろに女の人と医者者がグラフに何か書き込んでいる影が見えました。丁度その時看護婦が近寄り、私に誰と会いたいのかと聞きました。私は自分がメアリーの母親だと名乗りました。彼女は息を飲んで肩をつかみ、私をドアの外へ押し出しました。私は娘に会いたいと言いましたが、今、彼女は処置されているから入ってはいけない、と言われました。

り、なだめてくれたのです。医者が二回出てきて、メアリーについての質問をしました。その度に私は彼女に会わせてくれるように頼みましたが、退けられませんでした。突然部屋が白衣でいっぱいになりました。一人の医者が私の前に座り、私の手を握りました。「私の娘は死んだのですね？」彼は「はい」とうなずきました。私は息が出来なくなり、まるで穴の中へ落ちて行くような感じがしました。医者一人がメアリーに私がいいる事を告げたとはいました。そんな小さな儀礼的な態度は、むしろありがたくありませんでした。やっと私達は彼女の部屋に入りましたが、目の前の光景が信じられませんでした。そこには私の美しい娘の、ひどくみにくく傷つけられ、まるで彼女とわからない姿がありました。彼女の口からはまだ管が突き出て

おり、彼女の歯と歯茎が血に染まっているのが見えました。彼女の目は半開きで、白眼の所が濃い黄色になっていました。顔は腫れ上がり、深い紫色でした。顔の左側はまるで殴られたあとのようでした。唯一傷つけられなかった部分は髪の毛でした。私はただ彼女を抱きしめたかった。私はかろうじて彼女の身体に腕をまわし、さようなキスが出来ました。待ち合い室に連れていかれる途中、私はメアリーがどんなに可愛い赤ちゃんであつたかを話し始めました。私はたつた今自分が見た事を理解しようと努力したのです。私は必死で正気дейいようと頑張りました。夫に電話する時、ダイアルする指の感覚がありませんでした。夫にメアリーが死んだとささやいた時の彼の泣いている声はまだ聞こえるようです。メアリーの先生が、私に

サインするようにと、検死許可証を持つてきました。今になってやっとメアリーの母親が必要になったのです。今になってやっと私は、書類にサインをする為だけに必要になったのです。何が起こつたのか知る為に、私はそれにサインをしました。私達はメアリーのお葬式を考えなければなりませんでした。私は司祭にメアリーが中絶手術で亡くなつた事を告げました。その日は二人を埋葬する事になるのです。これを聞いて司祭も、何故メアリーの身体がひどい状態であつたのかかわかつたのです。検死の後に葬儀屋は最後の別れの時に見苦しくないのでように見せようと、何度も試みました。最後の別れは1988年8月19日でした。彼女の手にはジャスティンからおくられた小さなピンクのブーケがありました。メアリーの葬儀のミ

サは、彼女の今への賞賛でした。私達は、この美しい子どもを授けて下さつて感謝していると、神に知つて欲しかつたのです。私達が自分達の子供が欲しいと願つた時と同じ愛を持つて、神に彼女をお返ししたのです。一ヶ月後、私達はメアリーの検死の詳細について話し合う為検死官と会いました。彼は私達の質問に満足に答えようとしないで、細かい説明の替わりに「娘さんを恥だと思わないようにしなさい」と言いました。彼女はただの統計値にすぎなかつたのです。私達はメアリーの死が、統計の山の中に簡単に隠されるのを許せませんでした。真実を知るには訴訟を起こすのが必要で、それは我々とメアリーが公的な記録に記され、被告側弁護士の意地悪な攻撃の的になるという事を意味します。それでも相手側の逃れる手

段を打ち破るには、それしかなかったのです。適した弁護士を探すのはとても難しい事でした。必死に頑張って【女性の為の法的活動】のビッキー・コンロイに電話をしました。彼女は、中絶の不当治療のケースを専門とする国立法務事務所のメンバーである、テッド・アムシヨフというケンタッキー州の弁護士の名を教えてくださいました。

彼の同僚のジョセフィンと話した時、私はこれでやっと、中絶の議論よりもマアリーの死を重視してくれる人を見つけたと思いました。二日後、アムシヨフさんは私達の町へ来て、病院の記録と検死報告書に目を通し、マアリーが無駄な死を迎えたと認めたのでした。

我々の訴訟は、91年9月に始まりました。この法的争いはまだ続いており、だから私達の本当の名前を明かしたり、被告の身元を

明らかにしきれないたくさん細かい事情を話す事ができないのです。この訴訟の進む中で、私は被告側の手法が恥知らずであると感じます。色んな策略の一つとして、私達を、この立場を利用して、うまく儲けよう」としている家族だと信用を傷つけようとするのです。

アムシヨフさんの頑張りのおかげで、我々はいくつかの大切な事実を暴露しました。証言の中で、カウンスラーはマアリーのソノグラムを見てもないし、結果についてマアリーと話し合ってもいないとわかりました。カウンスラーは、ソノグラムでどの中絶方法が使われるべきか決めるために、オーダーを出したただけだったので。マアリーは、すべてを変えたであろうソノグラムの報告の中身を見る事はなかったのです。

【異常なし】もしこれを

知っていたら、彼女は中絶しなかったでしょう。彼女は、彼女の障害を持つ子供が、養子として出されなかつたり、両親や息子の耐えがたい負担になってしまつたという、罪の意識や恐れから自由になれたはずなのです。この中絶カウンスラーは、マアリーにただ一つの選択しかして欲しくなかつたのです。彼等は、落ち込んでいる十八才の子の弱みを握り、不完全で間違っている報告に基づいて、大切な命と健康の決断を下させようとしたのです。彼等は、たとえ【安全で合法的な】中絶に成功していたとしても、彼女が耐え忍ばなければならなかつたであろう罪の意識と痛みについて、一度も指摘した事はなかつたのです。【選択の自由】なんてそんなものです。

又、我々はこの大病院の中絶のセクションでは、病院勤務研修医師に中絶

手術やアフターケアをまかせているという事を知りました。マアリーの具合が悪くなつた時に彼女を見たのは、医学校を出てたつた二ヶ月しか経っていない研修医でした。彼女を診た時、たくさんの感染の症状があつたにもかかわらず、彼は処置を一時間遅らせているのです。彼女は40分後には意識を失い、完全生命維持装置がつけました。猛威をふるう感染が、ものすごい勢いで彼女を襲つたのです。マアリーがICUに運ばれた時はすでに、命を救うには遅すぎました。遅すぎたその時になつてやっと、彼女は病院で公認されている医師に診てもらえたのです。

マアリーが死んだ時、病院の指導による調査も、話し合いも、グループ討論もありませんでした。中絶のセクションはまるで何事もなかつたかのように機能しています。彼等の態度

は、あくまでも事業の運営を続ける、というものでした。マアリーの死について、「女性の選ぶ権利を主張する」グループが、全く何の関心も示さないという事も、見逃す事は出来ません。何故この亡くなった十代の女性に対して同じ世代の女性として正義を求めないのでしょうか？彼女が赤ちゃんの状態についてうそをつかれて、正しい選択を拒否されたのに、気にはならないのでしょうか？感染に命を奪われているのかかわらず無視された、というのに関心はないのでしょうか？女性の権利を主張する団体や、女性の為のグループの、ただ一人のメンバーも、マアリーの死に対する憤りどころか、形の上での同情すら、前に出て表さなかつたのです。彼等はマアリーが、ただの統計値のままでいた方が良かったの

です。しかし娘は統計値ではありません。彼女は尊敬に価する人間なのです。私は彼女が今人間として、あの中絶でいっしょに亡くなった息子のクリストファーと共に、天国で生きていると信じています。そして彼女は、正義を得れば心の傷も癒される事を、私達、特にジャスティンの為に祈っているでしょう。

【安全で合法的】中絶によって精神的に傷つけられている他のたくさんの方々の為に、また、これからそうなる人達の為に、私達は黙ってはいけません。この報告書に出ている人名は、すべて偽名です。この裁判が終わったらテイラー夫人は娘を中絶によって亡くしたり、ひどく傷つけられたりした他の家族とのネットワークを作りたいと思っています。

Post Abortion Review 6/1994

宗教リーダーによるカイロ声明

世界中の宗教リーダーがカイロ会議で、人命尊重を要請することを満場一致で採決したことは、一つの明確な成果です。様々な教派のクリスチャンが団結して生命の神聖さを訴え、さらに多くのイスラム教リーダーが加わって妊娠中絶合法化反対運動を支持しました。その例を以下に述べましょう。

カルカッタのマザー・テレサは、次のようなメッセージを会議に送りました。「私が確信を持って常に話している事ですが、今日の世界における平和の最大の敵は中絶です。母親にその子どもを殺す事が許されるのなら、人がお互いを殺す事をどうして止められるでしょう。生命を

奪う権利を持つのはただ一人、それを与えた神様のみです。その他の何者も、母親も、父親も、医師も、会社も、会議も、政府も、子どもを殺す権利など持っていないのです。子どもは、家庭に、そして社会に贈られる神様からの最も美しい贈り物です。決して拒んだりしてはなりません。皆さんが、これから生まれ来る生命を含めたすべての人の中に常に神様を認め、そして愛する信仰を持つよう、私はお祈りいたします。」

モスクワのロシア正教会の主教アレクセイ二世は、次のようなメッセージを送りました。「正教会は、法律的、心理的、身体的ないかなる形態の暴力も、結婚した男女が子どもを持つのを妨げることを禁じます。中絶を公的に奨励し、家族計画のための倫理的手段である、ましてや基

本的人権のひとつであるなどと認めることは、生命と人間性に対するより大きな暴力であります。」

エジプトでは、ある著名なイスラム教のリーダーが「家族計画と性の健康」のためという口実で中絶を認可する事は、イスラム教の原理に反すると警告しました。また他の多くの国々で、本会議に対するイスラム教のリーダーや団体による批判がおりりました。

IRLF news-fall-1994

親と十代の性

Part 6

三 貞潔の価値を守る方法

「価値」という言葉はたまた「伝統」などの言葉とごっちゃになる事がある。価値とは、「本質的な価値を伴う物質や質」「信念や標準」「ある物(事)を望ましい姿にさせ得る価値」などと定義づけられる。価値にはさまざまな発展の仕方がある。つまり、文化的、家族的、宗教的、そして社会的なものである。一方伝統というのは特殊な習慣である。伝統、あるいは習慣にはほとんどの場合祭日や年間の特別行事が伴う。例えば、クリスマスにみんなが集まるのはその裏に家族に対する忠誠心があるからだ。何か

特別な事をして絆を深めるために親子のコミュニケーションや親交を大切にしている。

* 新年やクリスマスをお家で家族全員で祝う。

* 母と娘あるいは父と息子でお気に入りのデザートやケーキを毎年少ろつて行く。

* 父と息子あるいは父と娘で釣りや映画にそろって行く。

特別な行事があれば、家族の一人一人が自分の責任が何か考える。みんなそれぞれその伝統において自分の役割を知っている。

この知識こそが家族の歴史感、安定感、責任感を生み出す。伝統の基礎となるのは価値観である。過去においては結婚前の貞潔もひとつの伝統と考えられていた。その根

底にあるのも価値観であつた。

価値観によって人々は自分の取り得る行動を決める。社会の中には、多数の人が賛成する価値観がたくさん存在する。社会生活していく上で、この事実を認める事が個人の価値判断に別の価値観を加える事になる。

* 正直・誠実で、偽りなく、率直、公平である事。盗んだり、だましたり、道理にはずれたような事はしない。

* 誠実・正直で高潔で勇気がある事。自分の信念に基づいて行動し、自分の主義主張を貫き、表裏のある良心的でない行動を決して起こさない。

* 約束を守る・信頼されるように約束を必ず守り、誓約を守り、形式主義にはならないようにする。約束

を守れなかつた時、正当化したり言い訳したりしない。

* 忠実・家族、友達、雇い主、先生、祖国に対して忠実かつ、誠実である事。秘密を守る。

* 公正さ・公平で偏見を持たない事。自分の失敗を素直に認め、人を平等に扱い、他人の弱点や間違いを利用するような事をしない。

* 思いやり・思いやりがあつて親切である事。同情的な気持ちも大切に。寛大であり、助けを必要としている人に手を差し伸べる。

* 尊重・人間としての威厳、プライバシーそして将来を決定する人々の権利に対して、尊敬の念を表すこと。礼儀正しく、時間を厳守し、他人に迷惑をかけたり自尊心を傷つけるよ

うな事をしない。

* 責任感ある市民・正当な法律に従う事、法律が不当であれば抗議する。可能な限り指導力を発揮し、情報を常に得ながら賢い決断を下す。

* 最高の追求・すべてに最高を追求する事。例えば学校、趣味、友情である。勤勉かつ熱心で、自分の能力を最大限に発揮する。

* 責任感・自分の決定に責任を持ち、自分の行動や怠惰の結末を予測する。

社会的に受け入れられないような行動を正当化するというのはどういったものだろう。人々はよく他の方法や結末(また最終的に巻き込んでしまつてあるう人々も含む)を熟考せずにある状況に「反応」してしまつ事がある。以下に挙げるのは正論から逸

れた「いくつかの例えである。

* 合法であればそれは道徳的である。過去アメリカには奴隷制度が合法的な時代があつたが、かといってそれが道徳的によいとされていたわけではない。十

七才以上の人が結婚前に性交渉するのは合法だから「OK」なのだろうか。それには考慮すべき問題がいろいろ伴つてはな

いだろうか。法的に認められていからそれが正しいという事にはならないのである。

* 言い訳・物事の正否に無関心あるいは無知であつたとしても、その結末から逃れる事はできない。典型的な例が、自分がソーダだと思つて飲んだものが実は毒だつたとする。すると自分にはその気がなくても死んでしまつ事は変わらないのである。自

分にだけはそんなことはあり得ないと思っ
ていても、性病にか
かった場合その
マイナスの結末
を迎える可能性
もあり得るので
はないだろうか。

* 次のような理由
づけ

- ・みんながやるから。
- ・他人にはわからない。
- ・この気持ちは非
常に強いのだ。
- ・誰も傷つけはし
ない。
- ・相手が傷つこう
と自分には関係な
い。別にこれか
らずっと先の約
束をしたわけは
ないのだから。

* 次のような利己
的考え

- ・わがまま 「相手
だってエンジニア
するさ」
- ・自己防衛 うそ、
欺き、もみ消し。
- ・独りよがり 「私
達は正しい事
をしているのだ
からあなたもや
ってください」

* 「人は徹底して良
い行いをした際
の価値を買いか
ぶり、良い行い
ができない場合
の犠牲を過小評
価するものだ。」
「道徳的な人は
、長期的利益を
得るためには短
期的恩恵を我慢
しなければなら
ない」また、「労
なくして儲けな
し」といったこ
とわざを知って
いるだろう。い
ままで述べた事
をこれが簡潔に
表している。

人は、何が正し
くて何が間違
っているかを見
極め、正しい行
いをすることが
求められる。楽
に決断できるこ
ともあれば、複
雑でなかなか
解決策が得られ
ないものもある
。正しい選択を
するためにはか
なり真剣に考え
る必要がある。
親は若者達にこ
のような複雑な
問題に対処する
方法を教え、彼
らが感情だけに
流されないよう
にする事が求め
られているので
ある。

四 学校と

協力しながら

性教育の一つの
手段として地元
の学校が挙げら
れる。学校と父
兄との提携は必
要なものである
にも関わらず必
ず生まれるもの
ではない。親は、
性の責任問題を
学校側に、「譲り
渡して」しまっ
たのである。そ
れでも最近では
、学校も父兄も
性教育に対する
責任は主に家庭
にあると認めて
いる。学校と協
力して行く場合
、子どもが何か
をうまくやり遂
げた時などはし
っかりほめてや
り、親が変えた
ほうがいいと思
う事はもっとう
まくできるよ
う励ましてやる
べきである。

学校と協力する親

* 親は最高の教育
者である

る。

* 親は自分の子ど
もへの理解者で
ある。

* 親には子ども
の受ける教育を
詳しく知る権利
がある。

* 親は教育方針
に参加する。

どうしたら学校
とより効果的に
協力して行ける
のだろうか。そ
のためには学校
にとって決して
脅迫的なやり方
でなく、助けに
なるような献身
的な振る舞い
によって発言力
を得る事である
。助けを求めら
れたらすぐに
応じる事。

「蜂蜜は酔より
もたくさん飲め
ばいい」とい
うことわざをみ
んな知っている
だろう。これは
人々と共に何か
をする時に、確
かに当てる事
である。性教育
に関する事は、
具体的な対策と
して今自分の子
どもが受

けている教育
内容を子ども
もや教師に確
認する事が望
まれる。親が
研究できるよ
うな映画、本
、ビデオ、パ
ンフレットな
どはないだ
ろうか。ある
いは親が参
加できる検討
委員会のよ
うなものはい
いか、探して
みるのも手
である。

(続く)

語りと「選択」

ジュリー・ブラウン

ジュリー・ブラウンは可愛い、人気者の高校三年生。細い髪はブロンドで少し恥ずかしがりやさんだけれど、学校は熱心に通っています。見た目には、彼女の中で何が起こっているか絶対わからないでしょう。彼女はそれをうまく隠しているのです。

一年前ジュリーは中絶をしました。彼女はその事について、いつまで悩まなくてもいい、と確信していました。それなのに何故今だに悪い夢を見るのか、と私に不思議がるのです。大きな目で私を見て、「気遣いだと思う?」と心から聞くのです。私は「いいえ、そんな事はないわよ」と言いました。彼女は視線を落として、「じゃあどうしてあの日を忘れられないの

かしら?学校にいる間も、ボーイフレンドとでかける時も頭から離れないの。私の心の中では中絶は何も悪い事ではないとわかってるのに、どうして私の感情はこうも揺れ動くの?」と言うのです。

私達はシヨップिंगセンターを歩いていました。私とジュリーと、ずけけと物を言う親友のセーラです。私達はレコード屋でCDを見ていました。ジュリーが女の赤ちゃんの写真が載っているCDを手に取り、なんて赤ちゃんは可愛いのかしらとため息をつきました。セーラは怒ったように彼女を見て「あなたには赤ちゃんがいたのよ」と言ったのです。ジュリーは床を見て「ええ」と息をつきました。セーラは私を見て、そして再びジュリーを見ました。私はセーラがあやまるのかと思いましたが、そのかわりに彼女は、赤ちゃんが

いたのに殺したのよ」と言ったのです。「セーラ!」私は叫びました。ジュリーは床を見たままうなずきました。私はセーラにあやまらせ、帰らせました。私はジュリーを抱きしめましたが涙は出てきませんでした。彼女は何を考えているのでしょうか?この子は、お母さんがそうしろと言ったので子どもを中絶しました。社会がそうしていいと言ったからです。

ジュリーは自分に中絶する権利があると信じていますが、何がそれを良しとするのか、わかっていません。中絶が他の人にはどうでもよくても、彼女にとってはそうでないから、彼女は悩んでいるのです。

ミーガン・グリーン

神様

セックスをどのように考えておられますか

「神様がセックスを実際にどのように考えておられるかどうかは分かりますでしょうか。そこで、教会と聖書の教えに基づいて、神様に次のようなインタビューを企画してみました。」

質問・神様、今日、多くの方が抱いているセックスに対する考え方をどのように思いますか。

神様：私が与えた贈り物を手に入れようと多くの私の子ども達が躍起になっています。私のセックスに対する計画は愛に基づいています。愛情の力強い表現としての贈り物として、そして生命がそれによって受け継がれていくようにと、私はセックスを

与えたのです。しかし、セックスを非常に強力なものにしたので、セックスに関してはあなた達が私の指示に従う事が大切です。そうしなければ、皆さんの問題が起きるでしょう。

質問・どのような問題ですか

神様：あなたの周囲を見渡してみなさい。人々の心が深く傷ついています。彼らは本当の愛を必死になんて探し求めています。しかしどのように見つければいいのかわからないのです。私の多くの子ども達が、不適切な方法で性的に自分を表現し、愛を求めています。私は望まないのに妊娠してしまつた

り、離婚や性病や妊娠中絶などに深い悲しみを覚えます。これらはあなた達がセックスという贈り物を乱用した時に起こる恐ろしいことなのです。

質問・しかし、もし二人が本当にお互いを愛している、セックスを望む時はどうなのですか。

神様：私は感情が信じられないほど強力だと知っています。そもそも私が感情を作ったのですから。しかし、もしあなたが本当に人を愛せば、あなたはその人にとって本当に良い事をいつも求めるでしょう。本当の愛とは決してたやすい事ではありません。未婚の時、自分の性的な衝動をコントロールできるよ

のほうがいい、そうでない人々よりも離婚率が低い事が分かります。結婚までセックスをとっておいした場合、人々はセックスに抛らない方法でお互いへの愛を表現できるようになり、お互いに本当に愛し合っているかどうかを知るために、人格の他の面に集中できるとなります。セックスの面でお互いが合うかどうかを知るため、結婚する前に相手を「試す」必要があるという考えは誤った考え方です。セックスは「私は永遠に、無条件に私の全てをあなたに捧げます。」という絆を自動的に作り出します。もしあなたが、結婚していない誰かとセックスをすれば、あなたの体はあなたの気持ちとは別の事をしている事になります。このことはあなたの体と心が一つになっ

ていないことを意味しています。恋人があなたにプレゼントをくれたと考えると、考えてみましょう。あなたはそのプレゼントを開け、きれいに折りたたまれたハンカチを発見します。しかし、そのハンカチを開けるやいなや、すこし湿っている、つまり以前に使われたものだったと気がつきます。たとえあなたの相手がそのプレゼントをあなた以外の人に贈っていないと断言しても、あなたはどのように感じるでしょうか。そうではなくて、あなたの相手が結婚初夜に未使用の贈り物をあなたに与えて、「さあ、これをあなたにさしあげます。これは私があなたに与えられる最も貴重な贈り物です。わたしはそれをあなただけのためにとっておいたのです。なぜなら、わたしはあなたと知り合う前から、あなたを愛し、あなたを待っていたのですから。」と言ったらどうでしょうか。

質問・結婚前に使う事を望みでないなら、なぜこのような性的な衝動や魅力力を私達にお与えになったのですか。

神様：私はあなた達に、たとえば、食べたいという衝動や、眠りたいという衝動のような、たくさん衝動を与えました。衝動にはそれぞれ目的があるので、それらはコントロールされなければなりません。食べすぎれば、肥満になります。眠りすぎれば、怠け者になります。性的なエネルギーも同様にコントロールされなければなりません。そういう訳で、私はこれら全ての性的な衝動を、あなたがたがとも若い時に与えたのです。

質問：私達に「コントロールする事」を教えるために、ですか。

神様：その通りです。思春

期に、私はあなた達の心と知性に、肉体をコントロールする方法を学ぶ学習過程を与えているのです。もし力の及ぶかぎり私の計画に従っていくならば、あなた達は、責任、成長、自制という美德を得るでしょう。そしてなぜ私があるあなたがたの人生のこの段階で、そのような美德を学んでもらいたいと思うか分かりますか。

質問・なぜですか

神様：それは、あなた達がほとんど大人だからです。人生で成功を収めるため、あなた達に必要なものは成長と自制です。思春期に、あなた達の体は非常に速く成長しますが、心も同様に成長しなければなりません。そのようにして私はあなた達を本当の大人にするのです。そういう訳で、性的欲望があなた達の心を支配しないようにす

る事が非常に大切なので
す。というのは、そうでな
いとあなた達の成長が妨
げられるからなのです。

質問・・神様、常にあなた
のおっしゃる事は道理に
かなっています。しかしそ
れでも難しい事のように
思えるのですが。

ただいた聖霊が宿って下
さる神殿であり、あなたが
たはもはや自分自身のも
のではないのです。あなた
がたは代価を払って買い
取られたのです。だから自
分の体で神の栄光を現し
なさい。コリントの信徒
への手紙一：第6章の18)

YOU-94

神様：そうですね。難しい
時もあるでしょう。しかし
あなた達は私があなた達
を助けるためにいつもこ
こにいる事を忘れてはな
りません。私の使徒の一人
である聖パウロが、性に関
する事柄について真実を
語っています。私が彼に吹
き込んだ次のような言葉
に耳を傾けなさい。「みだ
らな行いをさげなさい。人
が犯す罪はすべて体の外
にあります。しかしみだら
な行いをする者は自分の
体に対して罪を犯してい
るのです。知らないのです
か。あなたの体は神からい

